

1	事業名	予算額	本課予算	千円
2	事業細目 (試験研究調査項目) 魚病対策指導	予算額		千円
3	期間 42年度～ 年度	予算区分		
4	担当者 遠藤			
5	<p>目的 養殖業における魚病の発生・蔓延を防止し、魚病被害の軽減を図り、医薬品の適正使用を徹底して食品としての完全な養殖魚の生産を確保して養殖業の発展と経営の安定化を目的とする。</p>			
6	<p>方法</p> <p>(1) 県防疫会議……県内水産関係団体、県、地域防疫推進員</p> <p>(2) アユ種苗のピブリオ菌保菌検査…4～6月野洲、北小松、浜分、尾上</p> <p>(3) 巡回指導及び魚病診断</p> <p>(4) 魚病講習会</p> <p>(5) 水産用医薬品適正使用指導</p> <p>(6) 養殖魚医薬品残留調査…アユOA30検体、SMM20検体、ニジマスSMM20検体</p> <p>(7) 地域防疫検討会…県、地域防疫推進員、養殖業者</p> <p>(8) Siga Fish Disease Newsの発行…各月1回</p>			
7	<p>結果の概要</p> <p>(1) 県防疫会議……7月4日開催</p> <p>(2) アユ種苗のピブリオ菌保菌検査……4～6月計1,100検体全て陰性</p> <p>(3) 巡回指導及び魚病診断</p> <p>昭和61年1月～12月までの診断件数……117件</p> <p>河川放流用アユ検査……3件</p> <p>沖曳アユ検査(昭和62年2月)……8件</p> <p>巡回指導……随時</p> <p>(4) 魚病講習会……昭和62年1月27日開催</p> <p>(5) 水産用医薬品適正使用指導……県防疫会議、魚病講習会、巡回指導時に同時に指導パンフレット作成</p> <p>(6) 養殖魚医薬品残留調査……アユOA3検体検出</p> <p>SMM陰性</p> <p>ニジマスSMM陰性</p> <p>(7) Siga Fish Disease News……9月より発行、No.6まで発行済</p>			

8 主要成果の具体的数値 (図・表 等)

表 昭和61年1月～12月の診断件数 (混合感染を含む)

病名		月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	計
ア	ビブリオ病								3	2	4				9
	エロモナス症		1						8	1	1				11
	連鎖球菌症											1			1
	カラムナリス症				1										1
	細菌性えら病					1				1					2
	真菌性肉芽腫								1	1					2
	ギロダクチルス症				1		1		10			4			16
	ジュードエルガシルス症					1		1							2
	口ぐされ・尾ぐされ病					1	2				1				4
	環境性えら病・酸素欠乏			4		1									5
ユ	飼料性腸炎				1		2				1				4
	水カビ・ちょうちん・スレ			1		1			2						5
	不		1		3			1	2	9	6				22
	計		2	5	6	5	6	2	26	15	17				84
	コイ・フナ	カラムナリス症			1										1
立鱗病						1					1			2	
微胞子虫症							1				1			1	
ミクソボルス症											1			1	
キロドネラ症											1			1	
ダクチロギルス・ギロダクチルス症									1		1		1	1	4
酸素欠乏											1			1	
計				1		1	2	1		4	2	1	1	13	
ニジマス・ピワマス・イワナ	伝染性造血器壊死症		4	2	1										7
	ビブリオ病					1									1
	細菌性えら病													1	1
	キロドネラ症				1								1		2
	白点病												1		1
	飼料性腸炎								3						3
	酸素欠乏							1							1
不						1								1	
計		4	3	2	1	1	3					2	1	17	
ティラピア	ギロダクチルス症													1	1
	トリコデイナ症													2	2
	計													3	3
合計		2	9	10	7	8	6	30	15	22	2	3	5	117	

9 今後の問題点

医薬品適正使用指導の強化

10 次年度の具体的計画

指導事業の継続